四国中央 市議会だより

2014. 2. 1 NO. 39

議場の中をのぞいてみよう!!

平成 25 年第 4 回定例会は、去る 12 月 3 日から 20 日までの 18 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 25 年度一般会計補正予算案をはじめ、承認 2 件、市長提出議案 21 件、認定 2 件、諮問 1 件、議員提出議案 1 件、選任 1 件、意見書 2 件、請願 3 件、陳情 6 件が上程されました。

■主な内容

①正副議長挨拶、委員会構成紹介・・・・・・・・P31
②一般質問・・・・・・・・・P30 ～ P27
③委員会の審査概要・・・・・・・・P26
④議決結果一覧・・・・・・・・・・P25

ルミエール
（旧次郎長会館）
各種宴会・法要料理
仕出し・オードブル承ります
☎0896-24-2222
四国中央市三島中央 2-5-1
http://www2.ocn.ne.jp/~lumiere

KUMON
2月無料体験学習受付中!!
川之江金田教室（平井） 上柏教室（藤原） 寒川教室（菊池）
川之江馬場教室（渡辺） 中曽根教室（蝶野） 豊田教室（藤原）
川之江妻鳥教室（確原） 三島中央教室（蝶野） 土居長津教室（鈴木）
金生中央教室（確原） 中之庄中央教室（牟礼） 土居中央教室（井川）
上柏バイパス教室（池田）
お申込・お問い合わせは下記フリーダイヤルまで
☎0120-372-100
対象・費用（1教科）／幼児・小学生 6,300 円
中学生 7,350 円 高校生以上 8,400 円

パソコンの家庭教師です！
初心者からご年配の方まで受講生募集中！！
◆入会や年会費は無料
◆月謝制ではありません
◆出張費もいりません
◆ワンポイントレッスン歓迎
◆パソコンの不調診断ＯＫ
☆受講料 60 分
高校生まで 2000 円
一般 2500 円
スマイル・パソコンスクール（モリタ）
TEL.29-5321 携帯.090-3788-4959

平成 25 年 第 1 回臨時会

11 月 28 日に開会されました平成 25 年第 1 回臨時会において、議長・副議長が選出されました。

議長・副議長就任挨拶

議長 山本　照男

副議長 谷内　開

市民の皆様には、平素より市議会に対し、温かい御理解と御協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

私どもは、昨年 11 月の臨時会において、四国中央市議会第 11 代議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

私たち市議会は、行政当局との真摯な議論により有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くすとともに、自己研さんに励み、議会の改革･活性化にも努め、市民の皆様により一層信頼される議会を目指してまいりますので、今後ともなお一層の御理解と御協力を心よりお願い申し上げまして、就任の御挨拶といたします。

常任・特別・議会運営委員会委員　◎委員長　〇副委員長

総務委員会
◎越智　滋
〇後藤　光雄
大野　勝
三好　平
篠永　誠司
山本　照男
石津千代子

教育厚生委員会
◎苅田　清秀
〇石川　剛
国政　守
宇高　英治
原田　泰樹
西岡　政則
三谷つぎむ

環境経済委員会
◎飛鷹　總慶
〇三宅　繁博
河村　郁男
谷内　開
井川　剛
青木　永六

建設水道委員会
◎吉田善三郎
〇山川　和孝
眞鍋　幹雄
谷　國光
曽我部　清
石川　秀光

議会運営委員会
◎曽我部　清
〇越智　滋
篠永　誠司
吉田善三郎
宇高　英治
青木　永六
飛鷹　總慶

行政改革調査特別委員会
◎河村　郁男
〇大野　勝
三好　平
三宅　繁博
篠永　誠司
井川　剛
谷　國光
曽我部　清

議会改革調査特別委員会
◎宇高　英治
〇国政　守
後藤　光雄
山川　和孝
苅田　清秀
吉田善三郎
青木　永六
西岡　政則

暮らしやすいまちづくり調査特別委員会
◎石津千代子
〇眞鍋　幹雄
石川　剛
原田　泰樹
飛鷹　總慶
石川　秀光
越智　滋
三谷つぎむ

議会だより編集委員会
◎谷内　開
〇河村　郁男
石川　剛
山川　和孝
宇高　英治
石川　秀光
三谷つぎむ

議会選出監査委員

篠永　誠司　議員

議会を傍聴してみませんか !?

本会議及び委員会は原則として公開していますので、傍聴することができます。またケーブルテレビやインターネットで生中継もしています。

四国中央市　議会中継　検索

一般質問

紙面の都合上、1 議員 1 問の質問を掲載しています。

ごみステーションの一例

◆介護予防事業について

質問 **本市の介護を必要とする人数の把握状況と介護を必要としないで生き生きと生活を送ってもらうための介護予防事業の具体的な取り組みについて伺う。高齢者世帯、独居高齢者へのお弁当宅配サービス等の取り組みと結びつけてさらなる介護予防につなげる方針はあるか。**

石川　剛　議員

答弁 **市長、副市長**

介護を必要とする人数は、介護保険制度において介護認定を受けている方に限定すると、４月１日現在 5,633 人である。介護予防事業については、高齢者はつらつ事業と高齢者お元気事業とに区分して実施しており、できる限り介護が必要な状態にならずに、生きがいを持って自分らしい生活を続けていけるよう取り組んでいる。単身や夫婦のみの高齢者世帯への支援制度と複合的な介護予防の取り組みについては、高齢者福祉サービスと介護予防事業を連携させ、高齢者の皆さんが在宅で元気に生活できるよう一層の周知と啓発に努めたい。

その他の質問　・就学支援について　・スポーツ施設の利用について

◆市民文化ホール入札中止の事態に、設計の見直し、予算の大幅削減に着手を

質問 **設計事務所の責任で見直しを求めよ。10 億円ほどの予算増をほのめかす声もあるが、断じて許されない。入札不調を理由に、地元企業との共同企業体の解除、分離発注の中止などは、地元業者育成の上からもしてはならない。規模縮小を含む大幅見直しは可能であり、見直すべき。**

三好　平　議員

答弁 **企画財務部長**

現在、入札不調に至った要因の情報収集をしているが、仮に最近の建築資材価格や労務単価の高騰等が主たる原因ということであれば、今後は委託した設計事務所とも十分協議した上で、設計・仕様の一部見直しも選択肢の１つであると考えている。公共事業の発注については、これまでも市内業者の受注機会を確保するよう努めているところであるが、今後においても透明性･公平性･競争性が担保されるような発注形態を続けたい。

その他の質問
・財政の中・長期見通しは、どこまで市民、職員を泣かすの
・豊寿園の民間委譲、高原ふるさと館、暁雨館への指定管理者制度の導入はやめて
・同和行政終了から 11 年、特別扱いはやめましょう

◆市営住宅の中長期計画について

質問 **市営住宅の修繕、建てかえの方針と今後の運営ガイドラインを伺う。また、入居者の高齢化に対して高齢者が住みやすい、改修ほかの計画はどのように進められているか。あわせて、風呂やトイレの手すりほかの改修工事は費用負担も含めてどう対応するのかを伺う。**

宇高　英治　議員

答弁 **市長、副市長、建設部長**

平成 23 年度に、10 年間で従来の事後的な修繕から予防的な修繕への転換と計画的な建てかえを図るための四国中央市営住宅長寿命化計画を策定し、平成 24 年度から耐震改修工事、修繕改修、建てかえ事業や用途廃止など順次工事を進めているが、今後も慎重に進めていかなければならないと考えている。高齢化対策については、共有階段の手すりの設置や１階への住みかえ相談など行っているが、トイレや風呂などの手すりについては、各入居者において介護保険制度を利用し、設置していただいている状況である。

その他の質問
・市管理、小中学校の統廃合計画についてを伺う
・国道 11 号と臨港道路整備について伺う

◆マスコットキャラクターしこちゅ～の今後の活用について

質問 **10月27日に子育てフェスタ2013においてデビューした、しこちゅ～の市民への浸透や全国へのアピールをどのように図っていくのか。また、デザイン使用による地元の紙製品や物産品への活用をどのように進めていかれるのか。**

大野　勝　議員

答弁 **市長、総務部長**

しこちゅ～の着ぐるみについては、市内のさまざまなイベントや市内保育園幼稚園等を訪問し、子供たちと触れ合う機会を創出したいと考えており、まずは市内での周知に努め、その後全国的なイベント等への参加を検討していきたい。キャラクターデザイン使用による紙製品や農林水産物等への活用については、本市産品のブランドマークとして企業、事業者の枠を越えてしこちゅ～を広く活用していただける可能性があると見込んでおり、地域ブランド戦略との連携を図りながら、取り組みを進めたい。

その他の質問　・時代にふさわしい敬老事業について

◆5,000万円以上の住宅リフォーム助成制度予算で地域の活性化を求める

質問 **昨年は予算500万円で全体工事費8,285万4,000円の17倍効果。ことしは予算1,000万円で全体工事費1億8,672万8,000円と19倍近い抜群の経済効果が実証されている。来年4月消費税8％引き上げ後の、地域経済を支える切り札として5,000万円以上の予算化と、来年以後の事業継続を求める。**

青木　永六　議員

答弁 **市長**

住宅リフォーム等補助事業は、市民にとって、地域経済の活性化とあわせて我が家の居住環境が向上するということで、非常に満足していただいたと思っている。平成26年度は、3カ年事業の最終の年となるが、平成27年度以降についても、平成26年度に実施するリフォーム補助事業による経済波及効果等の結果を含めて分析し、多方面から検討していきたいと考えている。

その他の質問　・伊方原発再稼働中止を求めるべき　・教育問題について
・デマンドタクシー事業の見直しを
・中田井浄水場更新整備・運営事業の入札不調問題について

◆学校給食会計の今後の方針について

質問 **本市の給食会計は、5つの私会計に分かれており、未納額は約423万円ある。滞納対策として児童手当から天引きを実施し、また、学校現場・ＰＴＡの負担軽減、事務の透明性を考慮すると、今ある会計を一元化し、公会計制度の導入を図るべきと考えるが、いかがか。**

篠永　誠司　議員

答弁 **教育部長**

学校給食では、給食費の未納により業者への支払いに苦慮していることから、理事会においても学校給食費の公会計への移行について協議されてきたが、教職員･学校現場･ＰＴＡの負担軽減や事務の透明性、管理や責任の所在の明確化などのメリットがある反面、学校・ＰＴＡ・市との連携が希薄化することによる収納率低下の懸念やシステム開発、事務処理等の財政負担が生じるデメリットも考えられる。議員御案内の公会計制度や児童手当からの引き落とし等については、今後、調査検討を加え、学校給食会計の健全運営に努めていきたい。

その他の質問　・長期委託契約者等に対するモニタリング手法並びに評価について

◆がん検診受診率向上及び更年期における健康管理について

質問 **がん死亡率を減らしたく、検診受診率アップを目指して、コール・リコール推進を提唱したいが、本市における対策の見解をお伺いする。また、更年期における健康管理についてお伺いする。**

国政　守　議員

答弁 **福祉保健部長**

がん検診受診率向上については、検診の利便性向上に向けた取り組みとＰＲ活動等を組み合わせることが重要とされており、本市においても、あらゆるイベントでの周知や受診勧奨を行うとともに、休日検診や託児所を設けた検診を実施するなど受診しやすい体制を整えている。更年期における健康管理については、定期的な健康相談やアンチエイジング教室、予防教室などの健康教室を行っている。今後も、市民の皆様のニーズに応えられるようながん検診や健康教室、健康相談を実施していきたい。

その他の質問　・災害時の要支援者対策について　・学校耐震化工事について
・就労支援について　・ふるさと納税に対しての対策について

◆認知症について

質問 **認知症には、アルツハイマー型、脳血管性、レビー小体型などがあり、市内で3,700人を見込んでいます。認知症対策は今後とも重要な課題だと思われますが、予防、早期発見・治療、あわせて普及啓発や見守りなどの生活支援の取り組みをお伺いします。**

眞鍋　幹雄　議員

答弁 **市長、福祉保健部長**

本市では、心配な物忘れを早期に発見し予防に取り組んでいただくために、物忘れ相談プログラムの体験や、専門医による物忘れ相談を実施している。また、認知症の方やその御家族への支援体制づくりとして、認知症サポーターの育成や認知症高齢者探そや！ネットワーク事業、あんしん登録制度事業、憩いのスペース事業にも取り組んでいるところであるが、超高齢者時代を迎えるに当たり、これからも認知症対策に積極的に取り組んでいきたい。

その他の質問　・自然や歴史文化を生かした地域間交流について
・えひめ国体に向けたおもてなし

◆縦割り行政の弊害を考える

質問 **時代の変化が速い中、行政機構や取り組みをスクラップ・アンド・ビルドする行政改革は急務です。西予市では若手職員がチームを組んで事業仕分けをし、6億円の無駄の削減に成功した例があります。とりあえず老朽化した施設の管理の一本化について伺います。**

河村　郁男　議員

答弁 **企画財務部長**

施設の一本化については、設置目的や制度面において難しい場合もあるが、住民の利便性と行政の効率性の両立を図るよう努めていかなくてはならないと考えている。人口減少と老朽化により、全国的に施設の維持が困難になってきている中で、公共施設のマネジメントを一元的に行う部署を設置している自治体も出てきており、本市の具体的な案は今のところないものの、公共施設白書を作成することで課題を洗い出し、施設の総量も含めて将来的なあり方を検討していく段階で、それに対応する部署についても必要と考えている。

その他の質問　・いじめ防止対策推進法について　・公共交通バス路線の補助金について

◆篠原市長のあったか市政を問う

質問 **①国保料は県下一高い。40歳代で夫婦と子供2人の一般的な世帯で44万600円。しかも資格者証しかない世帯は新居浜市の倍以上。改善し引き下げを　②合併後、子供が439人減少している。3人目の保育料は無料にすべき　③市内に特別支援学校の建設を**

三谷つぎむ　議員

答弁 **市長、教育長、市民環境部長**

①平成24年度の料率改定の際、平成26年度までは料率を据え置くことを前提に1人当たり平均約7％の引き下げを実施している。平成27年度以降の国保料については、国の制度設計等を見据えながら慎重に検討したい。②3人目からの保育料無料化については、必要な財源を試算し、費用対効果について十分な考察を行うとともに、子ども・子育て支援新制度における国の動向も鑑みながら検討していきたい。③市で特別支援学校を設置するとなると、広大な敷地と建物、人的配置が必要となるため、関係機関との連絡調整を行いながら、一つ一つ協議検討していく所存である。

その他の質問　・水害の心配のないまちづくりを

◆循環型社会の確立に向けた当市のごみ行政について

質問 **ここ数年のごみ搬入量の増加傾向をどのように把握し分析しているか。また、ごみ減量対策の実績は上がっているか。クリーンセンターで発生する焼却灰、不燃残渣処理は料金の高い県廃棄物処理センターに6割も出している。料金の安い民間処理施設をもっと利用できないか。**

吉田善三郎　議員

答弁 **副市長、市民環境部長**

ここ数年のごみ搬入量の増加傾向については、核家族化による世帯数の増加や賃貸住宅建設の増加などさまざまな要因が考えられる。ごみ減量対策の天ぷら油回収事業については特に実績が上がっており、今後も増加する見込みである。焼却灰、不燃残渣処理については、県廃棄物処理センターと民間処理施設の2社に委託しているが、県と協議を行い現在の割合及び額となっている。今以上の処理割合の変更は、同センターの経営に支障が生じるなどの理由で、県から現在の処分量を維持してほしいとの申し入れがあり現在に至っている。

その他の質問　・当市の産業振興と企業立地開発事業について

常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。
※委員会審査の様子をケーブルテレビで放送中！

総務委員会

●議案第 98 号「四国中央市基金条例の一部を改正する条例について」

質問　平成 25 年３月の国の補正に基づいての３億 6,924 万 2,000 円とのことだが、これは年度内に執行しなくてもいいということなのか。来年度、基金を使うということに対しての問題はないのか。

答弁　これは平成 24 年度の補正予算であるが、年度末における予算計上であるため、全額繰り越ししている。平成 25 年度において実施する事業に充てるのが基本であるが、基金に積み立てた場合には、平成 26 年度に実施する事業に充てることが認められている。

●議案第 102 号「平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第７号）」所管分

質問　臨時財政対策債６億 4,750 万円の用途について、及び財政調整基金積立金６億円について、詳細を伺う。

答弁　財政調整基金積立金については、災害等に備えての積み立て、また平成 27 年度からの合併算定がえの終了に備えた激変緩和措置のため、68 億円を目標としているが、平成 24 年度末の積立金残高は 53 億円で、目標まであと 15 億円ほどとなっており、それに向けての積み立てである。通常は３月補正で積み立てるところであるが、今回、臨時財政対策債の交付決定に伴い、当初予算との差額６億 4,750 万円を補正計上しており、それに関連して財政調整基金積立金を計上したものである。

環境経済委員会

●議案第 102 号「平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第７号）」所管分

質問　商工振興費、首都圏交流会事業の内容を伺う。

答弁　四国中央市の紙関連事業で、首都圏に支店等を置いている 40 社程度を対象とし、これまで以上に連携を深め、新たな商流、活力を見出すために企画した事業である。

●議案第 116 号「公の施設の指定管理者の指定について」

質問　指定管理者選定評価委員会の評価内容はどのようなものであったのか。

答弁　愛媛大学法文学部の福井秀樹教授を委員長とする指定管理者選定評価委員会において、「住民の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること」「公の施設の効用を最大限に発揮できるものであること」「公の施設の適切な維持管理及びその管理に係る経費の縮減が図られるものであること」「公の施設の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること」という４つの審査基準に基づき審査が行われた結果、安定的な経営状況を続けており、引き続き株式会社やまびこを指定管理者の候補者として選定する旨の答申があった。

教育厚生委員会

●議案第 102 号「平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第７号）」所管分

質問　土居福祉センター施設整備事業が繰越明許となった要因を伺う。また、当該センターは使用頻度が高く、早急に対応願いたい。

答弁　当該事業は土居福祉センターの耐震診断を当年度に行う予定であったが、平成 25 年９月５日に入札を行ったところ、全業者が辞退し、年度内の事業実施が困難となった。入札不調に至った要因は、業者に耐震診断依頼が殺到しており、年度内の耐震診断への対応が困難な状況であることが考えられる。耐震診断工期を延長した上で、平成 26 年１月 28 日に再度入札を行い、早期の事業実施に努めたい。

質問　児童遊園地整備工事の対象箇所及び内容について伺う。

答弁　市内児童遊園地 71 カ所の総点検を実施した結果、39 カ所の 70 基の遊具が危険であると指摘されたことから、その撤去工事を行うものである。

建設水道委員会

●議案第 102 号「平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第７号）」所管分

質問　河川改良費の市単河川改良工事の内容、進捗状況について伺う。

答弁　今回は、周辺住宅への浸水被害を防ぐために、特に土砂の堆積が著しい川之江八幡神社の亀島付近の土砂を取り除く工事である。フラップゲート等については、既に発注している。亀島の角落とし等については、来年度に発注予定で、来年度当初予算で計上している。50 センチくらい堆積した土砂が４ブロックに分かれており、今回 800 立米程度を取り除く予定である。渇水の時期に早急に対応したいと考えている。

●議案第 106 号「平成 25 年度四国中央市港湾上屋事業特別会計補正予算（第１号）」

質問　上屋整備事業として、今回大江上屋２号と４号の屋根防水工事を行うが、ほかの上屋についてもそれぞれ今後、改修計画等の予定があるのか。また、全体的な中長期計画もあるのか。

答弁　今年度、市内の上屋の屋根の調査を行った結果、特に早急な改修が必要な２棟について今回予算計上した。今後の予定としては、来年度に村松１号と２号、大江３号と５号の屋根の改修を行う予定である。全体的な計画としては、屋根については今年度調査した結果で、順次傷んでいるところから改修を検討していく予定である。また、壁が鉄筋コンクリートでできている上屋については、爆裂している箇所などを今後調査していく予定である。

◆市発足 10 周年記念事業について

質問　**平成 26 年４月１日で市発足 10 周年を迎える。人生に節目があるように、市政においても同じようなことが言える。４つの市町村が１つになった結果、さまざまなゆがみも次第に取れてきた。これを機に市の一体化に取り組むために、どのような行事を考えているか。**

苅田　清秀　議員

答弁　**市長**

市発足 10 周年を迎える来年は、「Ｗｅ　Ｌｏｖｅ　しこちゅ～　見つめよう故郷、語ろう未来」をメインテーマに、華美にならないよう、一体感の醸成や市の情報発信ができる効果的な行事の開催を考えている。予定している行事には、新年交歓会、市発足 10 周年記念式典、出張！なんでも鑑定団のテレビ番組招致、子ども議会、サイクリング大会、地区対抗綱引き大会などがある。また、しこちゅ～カルタ制作にも取り組む予定である。以上のとおり、市民の記憶に残り、一体感の醸成につながるような 10 周年行事を展開していきたい。

その他の質問　・地域コミュニティの取り組みについて

◆国際交流教会について

質問　**川之江国際交流協会が８月総会において解散決議されたが、その経緯と今後は。これで市内には四国中央市国際交流協会ＳＩＦＡのみとなったが、来年３月策定予定の本市初となる国際交流ビジョンへの影響と策定経緯と内容は。また、友好都市中国宣城市との今後について伺う。**

石川　秀光　議員

答弁　**市民環境部長**

川之江国際交流協会は、公益法人関連の法律が施行されたことにより、平成 25 年 11 月までに新法の公益法人ないし一般法人への移行手続きを行うか解散するかを選択しなければならなくなり、社団法人としては解散する道を選択した。今後は着手している事業の完了を待ち、法人の残余財産の確定並びに処分により法的にも解散となる。四国中央市国際交流ビジョン素案には、従来２つの国際交流協会を中心に進められてきた国際交流・国際協力の推進に加え、多様な文化が共生して安心・安全なまちづくりの推進を定めており、今後は具現化するために、さまざまな施策の実施・検討を進めていかなければならないと考えている。

その他の質問　・篠原市長の平成 25 年度６月の所信表明について

◆市営住宅でのペット飼育世帯への対応について

質問　**市営住宅でペットを飼うことは条例で禁止されているが、これまで特に厳しい指摘もなくわずか３週間で手放すか明け渡すかを迫るのはあったかさに欠ける。長年黙認状態であった行政にも責任はあるのではないか。個別に話を聞き、期間延長することも検討していただきたい。**

井川　　剛　議員

答弁　**建設部長**

市営住宅におけるペット飼育については、市営住宅条例及び同施行規則において禁止されており、申し込みから入居に至るまで３重のチェックで確認いただいているところであるが、そういった過程にもかかわらずペットに関する苦情が後を絶えず寄せられている。これまでは個別対応してきたが、今年度、ある団地において苦情が殺到したため、今回団地全体にビラを配布し３週間の期限付きで是正指示書を手渡した。是正期間については、当初の申告期間２週間と合わせて１カ月以上の猶予期間を設けているので、御理解いただきたい。

その他の質問　・公共施設への飛散防止フィルムの施工について
・ＪＲ伊予三島駅南口への駐輪場整備について

◆四国中央市の未来へのビジョンをどう描いているか。具現化の施策はあるのか

質問　**インフラ整備のおくれや道路行政のおくれを指摘される市民が多い中で、特に最近のゲリラ豪雨等による水害対策への取り組みのおくれは喫緊の問題である。それらを含め、これからの四国中央市の未来へのビジョンをどう描いているのか。**

谷　　國光　議員

答弁　**市長**

第１次総合計画では、人口 10 万人都市を目指してまちづくりを進めてきたが、全国的な少子高齢化の進行やめまぐるしい時代の変化の中で、目指してきた都市づくりの方向性と差異を生じてきている。第２次総合計画では、時代の変化に対応できる、より具現性の高い計画となるよう努めており、さまざまな難局も、市民・議会・行政が一体感を持ってともに乗り越え、市民一人一人が幸せを実感できるまちにしていきたいと考えているので、御協力賜りたい。

その他の質問　・日本一おいしい給食を目指して　・市発足 10 周年記念事業の一環として結婚にまつわる感動の話を全国から募集する企画の一考は

平成 25 年 第４回 四国中央市議会定例会　議決結果一覧

番　号	件　名	議 決 結 果
承認第５号	交通事故に伴う和解及び損害賠償額の決定の専決処分の承認を求めることについて	承　　認
承認第６号	平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第６号）の専決処分の承認を求めることについて	承　　認
議案第 97 号 ～第 101 号	消費税率等の引き上げに伴う関係条例の整備等について　ほか条例改正４件	原案可決
議案第 102 号	平成 25 年度四国中央市一般会計補正予算（第７号）	原案可決
議案第 103 号 ～第 109 号	平成 25 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）　ほか特別会計補正予算６件	原案可決
議案第 110 号 ～第 112 号	平成 25 年度四国中央市水道事業会計補正予算（第２号）　ほか企業会計補正予算２件	原案可決
議案第 113 号 ～第 115 号	愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について　ほか２件	原案可決
議案第 116 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第 117 号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同　　意
認定第１号～第２号	平成 24 年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について　ほか１件	認　　定
諮問第４号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
議員提出議案第５号	暮らしやすいまちづくり調査特別委員会の設置について	原案可決
選任第３号	暮らしやすいまちづくり調査特別委員会委員の選任について	選　　任
意見書第３号	ＴＰＰ（環太平洋連携協定）に関する意見書について	採　　択
意見書第４号	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書について	不 採 択
25 年請願第２号	フクシマを繰り返さないために伊方原発の再稼働を認めないことを求める請願	継続審査
25 年請願第３号	「特例水準の解消」の名による年金削減の中止を求める請願	不 採 択
25 年請願第４号	特定秘密保護法の制定に反対する意見書決議を求める請願	不 採 択
25 年陳情第５号	伊方原発の再稼働を認めないことを求める陳情	継続審査
25 年陳情第６号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	継続審査
25 年陳情第７号	介護職員の処遇改善を求める陳情	継続審査
25 年陳情第８号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	継続審査
25 年陳情第９号	「四国中央市人権対策協議会の補助金」に関する陳情	継続審査
25 年陳情第 10 号	ＴＰＰ断固反対に関する陳情	採　　択
24 年陳情第２号	「四国中央市人権対策協議会の補助金」に関する陳情	継続審査
25 年陳情第１号	中小業者の家族従業者の人権保障のため「所得税法第 56 条の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情	継続審査
25 年陳情第４号	日本政府が、事実にもとづく歴史認識を国内外に表明することを求める陳情	継続審査

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた案件を掲載しています　　○：賛成　×：反対

氏名 / 議案番号	石川剛	国政	大野	眞鍋	三好	後藤	山川	河村	三宅	谷内	篠永	山本	苅田	吉田	井川	宇高	原田	青木	石津	飛鷹	谷	曽我部	石川秀	越智	西岡	三谷
議案第 97 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 102 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
認定第１号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
25 年請願第３号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
25 年請願第４号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
意見書第４号	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○